

地方版IoT推進ラボ 第三弾選定地域の概要

■ 北海道猿払村

・猿払村の2大産業（ほたて・酪農）に新規産業（いちご）を加えた3つの分野で、IoT・AI技術を駆使し「見える化」「省力化」を図り、**スマート産業の構築に取り組む。**

漁業（ほたて）：「獲る漁業」から「育てる漁業」への転換により年間約4万トンの水揚げする**日本一の産地となった現状を更に発展させるため、水中ドローン等のIoT技術による「より精度の高い資源管理」に取り組む。**

酪農（乳牛）：大規模化、放牧メイン等の多様な酪農で年間生乳生産量約4万トンを有するが、**後継者不足に直面する現状。作業負荷軽減・生産性向上・収益性向上を目的に「スマート酪農」を目指し、魅力ある酪農像を村内外に示す。**

農業（いちご）：冷涼な気候、地熱・風力発電を強みに、「稼げる」いちごの**通年出荷を実現する「猿払システム」をIoT技術により構築し、第三の基幹産業化を目指す。**



←ほたて漁風景

酪農風景→



■ 秋田横連携（秋田県横手市・大仙市・五城目町・東成瀬村）

・人口・子供・賃金・税金・SNSネット利用率が少なく、空き家（遊休資産）、遊休時間、高齢者人口が多い秋田県の25市町村から**2市・1町・1村**が集まり、**ローカル・シェアリング・エコミー×地域力×IoT**に着目し、地域力を発揮することで地域課題の解決につながるアイデアの発掘、住民生活の不安を解消し、**地域を牽引する民間サービスへの未来投資**に向け取り組む。

・サービス対象を「農業」「起業」「除雪」「家事」「育児」「過疎地の看取り」「移住」など地方共通の課題とし、IoTサービス&ツールへのニーズが高まり、県内のIT企業がサービス発案事業者と共にビジネスを立ち上げる機会を増加。

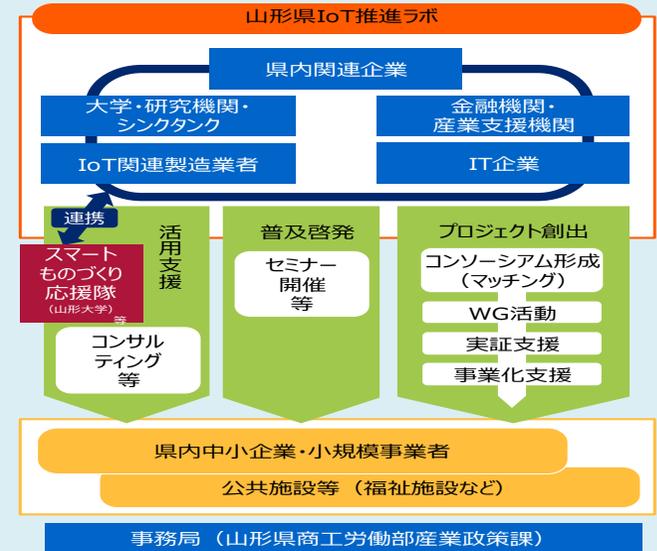
・また、**20代の若手住民**が企業ではなくシェアリング・エコミーを通して**地域力**になることを期待。



地方版IoT推進ラボ 第三弾選定地域の概要

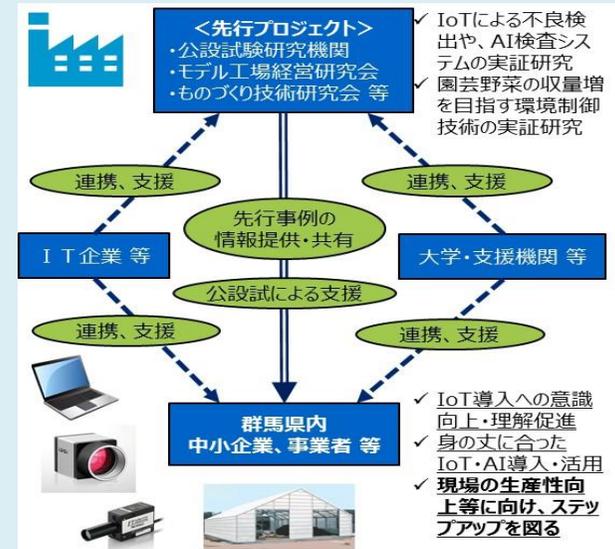
■ 山形県

- ・県内企業によるIoTやビッグデータ、AI、ロボットの導入・活用を促進し、**生産性向上や労働力不足の解消**を図るとともに、県内関連企業等による**IoT関連ビジネスの創出・事業化**を実現することにより、**高い付加価値を生み出し続ける本県産業の構築**を目指す。
- ・セミナーの開催等によるIoT等の普及啓発や、**山形大学のスマートものづくり応援隊・産業支援機関のコーディネーター等**と連携して、企業へのIoT等の導入・活用の助言・支援を行なうとともに、次の事業実施を想定している。
 - ① 中小・小規模製造業向けIoT導入モデル構築
 - ② 製造業向けIoT協働ロボット導入
 - ③ 介護現場におけるIoT活用



■ 群馬県

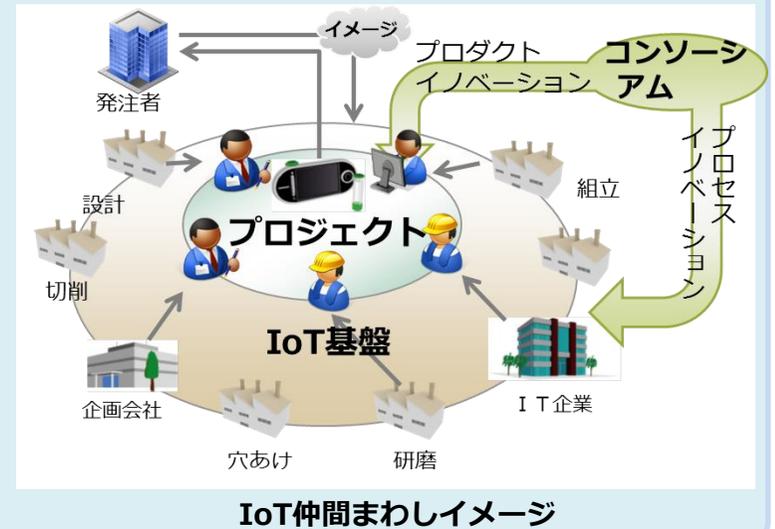
- ・ものづくりや農業等の分野で、県内中小企業・事業者等の生産性向上や新たな事業創出に向けたIoT・AI等の導入を加速化するため、**導入の具体化に向けた個別企業の取組を支援し、現場の生産性向上等に向けたプロジェクトを創出する。**
- ① 実証研究：IoT・AI等のデジタル技術の活用による生産性向上などの実証研究を推進し、IoT・AI導入プロジェクトを創出。
- ② 情報提供：IoT・AI等の普及啓発セミナーや、3Dものづくりに関する技術的課題や活用事例を紹介するセミナー等を開催。
- ③ 人材育成：技術セミナー等により、IoT・AI等を活用できる企業人材の育成を図る。



地方版IoT推進ラボ 第三弾選定地域の概要

■ 東京都大田区

- ・大田区の特徴であり、強みの源泉である「仲間まわし」にIoT技術を活用して受注拡大を図り、地域産業の活性化を目指す。
- ・IoTを導入し、「仲間まわし」企業をネットワーク化して生産性向上を促進すると共に、地方企業の参入を喚起していくため、①コンソーシアムの構築による自立化支援、②IoT技術の調査や実証実験を実施。
 - ①「大田区製造業コンソーシアム」を構築し、自立的に受注連携のルール化やテーマ創出等を推進する体制を整備。
 - ②大田区に適したIoT技術の調査、実証実験を実施。IoT技術の活用により既存ネットワークを効率化し、区外企業と相互補完。



■ 新潟県長岡市

- ・高度な技術を持つ多様な中小製造業が集積し、3大学1高専が立地する地域の特性を活かしながら、産官学金の力を結集し、製造業をはじめとする市内全産業へのIoT・AIの導入を支援するプラットフォームを創設する。
- ・IoT導入により、生産性向上・技術伝承や新たな価値の創造を目指すため、地域循環型のIoT導入支援チームを設置し、市内事業者向けIoTセミナーの開催や、課題解決のための専門家派遣、IoTに関する人材の育成、実証実験を実施。



地域循環型のIoT導入支援チーム

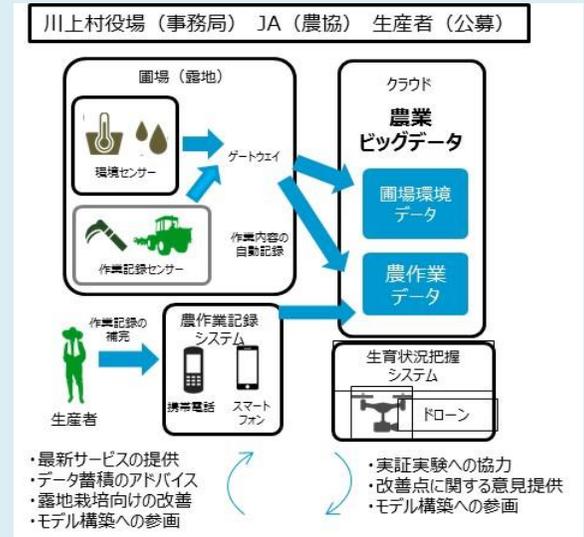
- 長岡版イノベーションアドバイザーや大学等の産学連携コーディネーター
- 長岡IoT推進協議会をはじめとする市内IT事業者
- IoT導入に必要なデバイス等に関する市内メーカー

地方版IoT推進ラボ 第三弾選定地域の概要

■ 長野県川上村

・既存の生産量依存の生産構造から脱却し、計画的生産から収益率を向上させる「稼ぐ農業」を実現するため、大学、大企業、ベンチャー企業の持つ先端技術を導入し、次世代の農業の担い手不足の解消を実現するモデルを構築する。

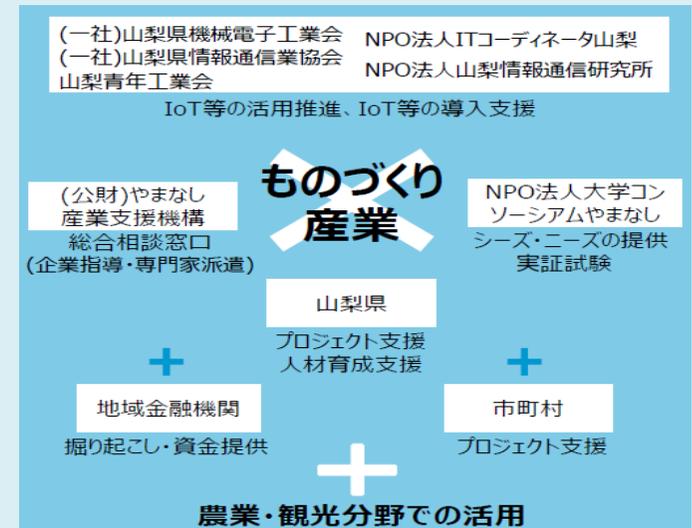
- ① 農業における圃場環境データや農作業データの蓄積・分析など、IoT等を活用した新技術の先行導入・試行を行い、IoTサービスの改善等を行うための実証試験体制を整備する。
- ② 継続的に農業へIoTサービスを導入し、ビジネスとして自立させるとともに生産性向上モデルの構築を図る。



■ 山梨県

・県の基幹産業である機械電子産業などの「ものづくり産業」を中心に、「農業」・「観光」分野を含め、中小企業によるIoT等の先進的技術の活用に向けた支援体制を構築し、山梨県におけるIoT等の取り組みの加速化を図る。

- －ものづくり：先行事例紹介、アドバイザーによる導入指導・助言、人材のスキルアップなどによりIoT等の活用を促進。
- －農業：実証試験により取得したデータを地域ブランディングや6次産業化に活用し、成功事例を創出。
- －観光：体験型観光における、IoTに基づいた体験共有システムを構築。

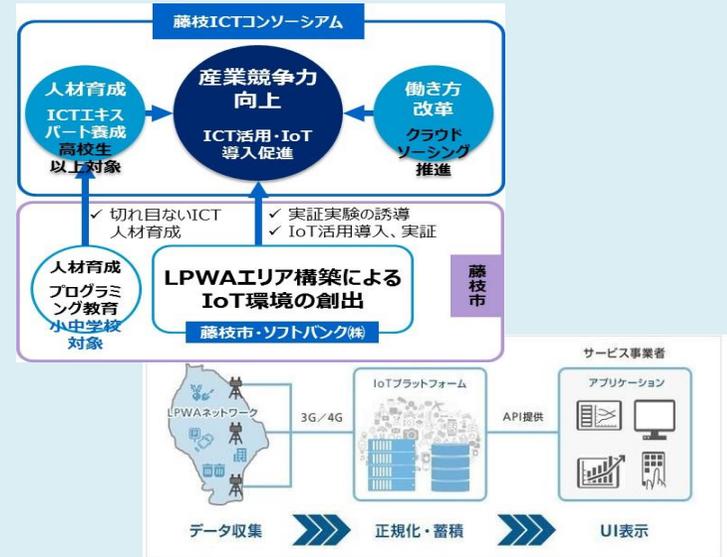


地方版IoT推進ラボ 第三弾選定地域の概要

■ 静岡県藤枝市

IoT活用による新事業の創出や市民サービスの向上を推進するため、市内広域に整備されたIoT専用通信基盤を活用し、①IoT導入による地域産業の成長支援、②ICTエキスパート人材の育成、③クラウドソーシングの推進を実施。

- ①インフラ管理、防災、商業支援等におけるIoT活用の実証実験の成果を発信。静岡県・島田市と連携した実証実験を併せて実施。
- ②ICTエキスパート人材を育成し、ニーズに応じたICT教育プログラムを開発。
- ③中心市街地にクラウドソーシングの環境を整備し、独自システムの構築・運用。



■ 石川県かほく市

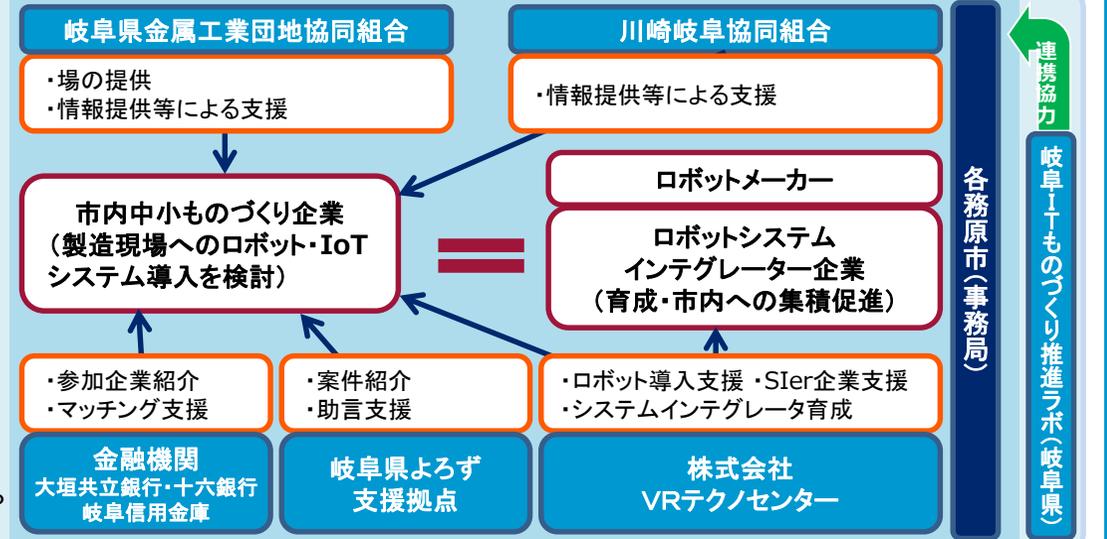
- ・「学校」「家庭」「行政」「企業」「各種法人」が一体となり『こども』の自主性を引出し、『プログラミング教育を通じて「コト」づくりのできる次世代人材育成』を目指す。
- ・児童・生徒が自由にプログラミングできる環境として、「IT CATSかほく研究所（通称：K-LABO）」を設立し、カリキュラムのマニュアル化、プログラムの製品化を目指す。
- ・プログラミング教室、WROロボット教室等を通して、意欲のある児童・生徒をロボット世界大会への出場レベルに引き上げ、育成。



地方版IoT推進ラボ 第三弾選定地域の概要

■ 岐阜県各務原市

- 各務原市に集積する中小ものづくり企業の多くが海外との価格競争、人手不足に苦しんでおり、製造現場の**省力化、効率化**による**競争力強化**は喫緊の課題。第3セクター（株式会社VRテクノセンター）が持つ**ロボット導入のノウハウ**を活用し**製造現場の自動化を推進**。
- 産業用ロボットシステムインテグレート企業の**人材確保、教育支援**及び、今後求められる**インテグレート人材の高度化支援**による**産業基盤の強化**。



■ 岐阜県郡上市

- 本市の主要産業の1つであるスキー場の休業期間を利用した**ドローンスクール**を開催する。**土木建設・測量業界**の技術者養成を目的とし、3Dデータの取得からデータ処理、データの活用方法に至るまでの全工程を体系的に**実践教育**を実施。
- 「郡上クリエイティブテレワークセンター」において、ドローンで計測・記録した各種データを業務用にデータ加工処理するためのBIM/CIM/iコンストラクション向けの**3次元データ処理専門家育成事業**を立ち上げ。
- 地域におけるIoT人材を育成**するため、市内小中高生を対象としたプログラミング教室やUターン候補人材を地域に呼び寄せるためのIoT講座を開催し、**地域産業の活性化に向けた新たな道筋**を創出。



地方版IoT推進ラボ 第三弾選定地域の概要

■ 愛知県幸田町

- ・製造品出荷額が約1.5兆円（平成26年工業統計調査）である本町は、地方創生交付金を活用し、低温プラズマと自動走行の両技術において名古屋大学と事業を推進しており、本技術がIoTにより様々なフィールドへ繋がることで、新産業の創生を図ることとしている。このため、産業の安定と発展のために「幸田ものづくり研究センター」を愛知工科大学内に設置し、①ものづくり人材の育成、②ものづくり経営改善・創業支援、③産金官学連携、④**幸田町のブランディング**等の事業展開を実施。

幸田ものづくり研究センター： <http://2015kmrc.weebly.com/>

- ・**プレステージレクチャーズ事業**：世界を震撼させる技術を開発されたトップ技術者や世界経済に大きな影響を与えておられるトップ経営者の皆さまを幸田町にお招きし、自らの御経験のもとに、革新的技術等をお話いただき、広い知識を得る機会を提供。特に、IoT活用に関するテーマを充実させ、最新の情報を共有。

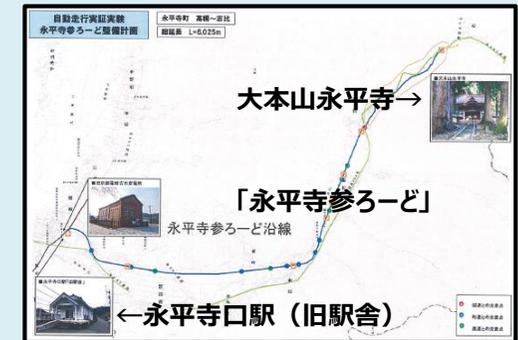


■ 福井県永平寺町

- ・えちぜん鉄道永平寺口駅～大本山永平寺を繋ぐ、**距離約6km・標高差約130mの「永平寺参ろ一ど（鉄道廃線敷き）」**を活用した自動走行技術の開発・実証・実用化により、以下に取り組む。

- ・自動走行関連企業との連携や誘致による**技術・成果の地元定着**
- ・路線バスの便数減（15便/日）を補完し、**沿線住民の生活の足の確保や観光客の利便性向上**

⇒ **自動走行技術の実用化により、自動走行環境の空間自体を新たな地域資源とした観光誘客、先進企業の誘致、雇用機会の増加、生産年齢人口の流入、地域の若返り、地域コミュニティの再生を図る。**



↑えちぜん鉄道永平寺口駅～大本山永平寺を繋ぐ、距離約6km・標高差約130mの「永平寺参ろ一ど（鉄道廃線敷き）」

地方版IoT推進ラボ 第三弾選定地域の概要

■ 奈良県明日香村

・千四百年前の飛鳥時代の歴史や文化を感じ取れる、まさに**屋根の無い「博物館」である明日香村をフィールドとした、観光ガイドアプリ「明日香まちかどビーコン」を開発。**
参加型観光ルートの構築、むらの魅力再発見により、**観光体験の価値を向上させ、滞在時間・宿泊者数増**を目指す。

・地元関係者との共創により、ビーコン事業、及び、今後の明日香観光等の企画立案の場を提供するため、村内の空き家等を活用した、都市部企業のサテライトオフィス設置を検討。



←石舞台古墳



飛鳥宮跡→



←高松塚古墳
西壁画→



高松塚古墳 西壁画

■ 兵庫県淡路市

・淡路市は「いつかきつと帰りたくなる街づくり」をテーマに掲げ、
① 住んでいる市民・住民が、快適で安全安心に生活できる街づくり
② 島外で働いている人達が、いつかきつと帰りたくなる街づくり「Uターン」
③ 淡路市を訪れた人達が、住んでみたくなる街づくり「Iターン」
をコンセプトに、様々な地域課題をIoTを活用した解決に取組み、
新サービス（事業）の創出、人材・ベンチャー育成、経済発展を目指す。
・まずは、関西看護医療大学、女子プロ野球チーム（兵庫ディオネ）、
観光協会等を中心に、各種スポーツ関連イベントを通じた、
「健康（ヘルスケア）× 教育 × 観光」でIoTを活用した新サービス創出の可能性を実証。



↑淡路市北部生活観光バス
「あわ神あわ姫バス」

←淡路島の外周150kmを10時間で
自転車が駆け抜けるイベント
「淡路島ロングライド150」

Hyogo
Dione

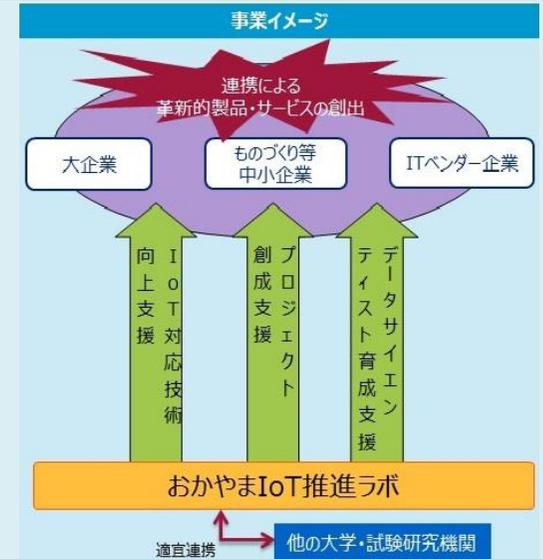


地方版IoT推進ラボ 第三弾選定地域の概要

■ 岡山県

・IoT関連の高度な製品・サービスの創出や、データ分析などの技術を有する人材の育成のため、①IoT対応技術向上、②IoTプロジェクト創成支援、③データサイエンティストの育成支援を実施する。

- ①IoTに的確に対応できる企業の全体数を増加させるため、**中小企業のIoT対応スキルの底上げを図り**、ベンダーとのマッチングを実施。
- ②オープンイノベーションの手法を用いて、**ものづくり等中小企業とIoT関連企業、他の中小企業、大企業等との連携を図り**、革新的製品・サービスの創出に向けたプロジェクト創成を支援。
- ③IoTの活用や販路開拓のために活用が不可欠な**オープンデータ・ビッグデータの分析を担うデータサイエンティストの育成を支援**。



■ 岡山県瀬戸内市

・瀬戸内市の地域資源を活用し、ヘルスケア分野や感動体験型の観光分野における各種データの取得・分析によるIoT実証プロジェクトを実施する体制を構築し、ビジネス創出を図る。

- ①ヘルスケア分野：ウェアラブル端末の装着などにより、高精度な**生体データ及び感情データを取得し、医師の解析を経て、ヘルスツーリズムとして企業向け健康プログラムを開発し**、サービスを提供するベンチャーを創出。
- ②観光分野：**観光客の感情データ及び位置情報を測定・分析し**、より特徴的かつ高揚感の高まる観光パッケージを開発することで、観光産業を活性化。

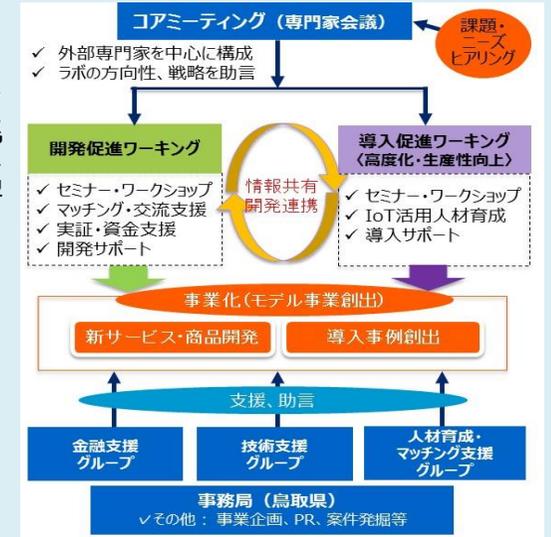


地方版IoT推進ラボ 第三弾選定地域の概要

■ 鳥取県

・産業の高度化による生産性向上、ICT企業の技術力向上、“とっとり発”の新たな製品・サービスの創出による県内課題解決及び地域資源（農作物、観光等）の魅力増大のため、県内におけるIoT開発・導入を促進することで**県内各分野の高度化による生産性向上や課題解決に取り組む**。

- ① 県内の課題・ニーズを把握するニーズヒアリングを実施。
- ② 外部専門家を中心とした「コアミーティング（専門家）」の助言により、鳥取県としての方向性、戦略等を検討。
- ③ 各ワーキングにおいてシーズ・ニーズのマッチング、プロジェクト構築（実証モデル開発等）支援、人材育成支援等を行う。

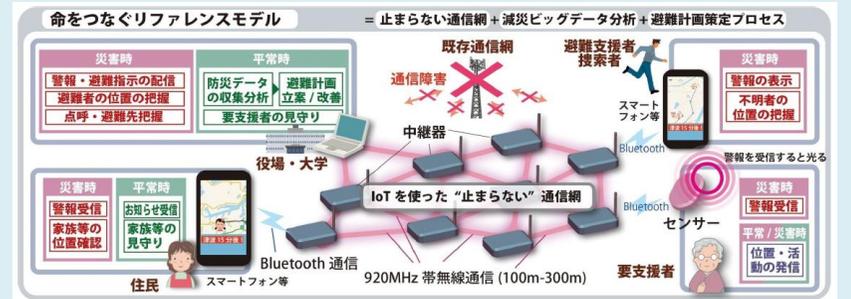


■ 徳島県美波町

・美波町における南海トラフ地震や、一次産業の後継者不足への対策として、“止まらない通信網”を活用した防災機能の強化や、水産業等へのIoTサービスの展開に取り組む。

- ① **災害初期の通信遮断時にも動作する“止まらない通信網”を整備する。**
- ② ネットワークを活用した平時の高齢者見守りサービスの開発や、水産業・農業のニーズとIoT企業とのマッチングによるプロジェクト創出など、**美波町進出サテライト企業を核とした防災以外のその他分野への展開を図る。**

災害初期の通信遮断時にも動作する“止まらない通信網”



美波町サテライトオフィス（出所：美波町HP）



地方版IoT推進ラボ 第三弾選定地域の概要

■ 長崎県南島原市

- ・南島原市の基幹産業である農林水産業では、小規模な圃場が多く、また**労働力不足**のため作業の**効率化に向けた対策**等が急務。そのため、農業を中心とした**新たなIoTサービスの創出**を図っていくことを支援。
- ・「島原ITもくもく会（任意組織）」では、毎月市内の生産者や企業などの**若手経営者との交流**により、アイデアを模索。また、市内での「アイデアソン・ハッカソン」などIT開発合宿のコアメンバーが所属している組織であり、**市外のIT企業や支援団体等と連携したIoT事業の創出**に向け活動。



地方版IoT推進ラボ ポータルサイト
<https://iotlab.jp/local/>

